

作成日 : 2010年10月1日

改訂日 : 年 月 日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 (商品名)	フルミオ洗浄剤
会社名	ホクサン株式会社
住所	〒061-1111 北海道北広島市北の里 27 番地 4
担当部門	農業科学研究所
電話番号	011-370-2103
FAX 番号	011-370-2070
e-mail	gyoumuka@hokusan-kk.jp
緊急連絡先	営業部業務課
TEL	011-370-2333
推奨用途及び使用上の制限	洗浄剤
整理番号	C-1

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	急性毒性 (経口)	区分外
	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
	特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分 1 (呼吸器系)
	特定標的臓器毒性 (反復暴露)	区分 2 (肺)

* 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

【GHS ラベル要素】

絵表示又はシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	皮膚刺激 重篤な眼の損傷 呼吸器系の障害 長期にわたる、または反復暴露による肺の障害のおそれ
注意書き	
安全対策	子供の手の届かないところに置くこと。 使用前にラベルをよく読むこと。 粉じん/ミストを吸入しないこと。 取扱い後は、手、顔等をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置	皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 暴露した場合：医師に連絡すること。 直ちに医師に連絡すること。 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 施錠して保管すること。
保管	
廃棄	内容物／容器を国及び地方自治体の廃棄物処理に関する法律・条令に従って廃棄すること。
国／地域情報	—

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	単一製品
化学名又は一般名	フルミオ洗剤
組成情報	
1) 化学名	水酸化カルシウム
別名	消石灰
含有量	—
化学式	CaO ₂ H ₂
化審法	公表
安衛法	(1)-181
CAS No.	1305-62-0

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸が止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。 呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。 体を毛布などでおおい、保温して安静を保つ。 意識のない被災者には何も飲み物を与えてはならない。 直ちに医療措置を受ける手配をする。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合には直ちに石鹼でよく洗い落とすこと。 水泡、痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合	目に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けること。 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄すること。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄する。可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医療措置を受ける手配をする。
応急処置をする者の保護	「8. 暴露防止及び保護措置」の保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	—

5. 火災時の措置

消火剤	初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。 この製品自体は、燃焼しない。
使ってはならない消火剤	特になし。
火災時の特有の危険有害性	—
特有の消火方法	消火作業は、風上から行う。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 周囲の設備等の輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。 燃焼源の供給を速やかに止める。
消火を行う者の保護	関係者以外は安全な場所に退去させる。 消火作業の際は、必ず「8. 暴露防止及び保護措置」の保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。 風上から作業し、風下の人を退避させる。 着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。 漏出時の処理を行なう際には、必ず「8. 暴露防止及び保護措置」の保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。 水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の 方法・機材	飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	取扱いは、換気のよい場所で行う。 作業場の換気を十分に行う。 取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。 屋外での取扱いは、できるだけ風上から作業する。 取扱いの都度、容器を密閉する。 取扱い場所には、関係者以外の立入りを禁止する。 眼、皮膚、衣類に付けないこと。 保護手袋および保護眼鏡を着用すること。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
局所排気・全体換気	取扱う場合は、局所排気内、または全体換気のある場所で取扱う。

注意事項	みだりに、粉じんが発生しないように取り扱う。
安全取扱い注意事項	特になし。
保管	
適切な保管条件	換気のよい／涼しい場所で容器を密閉し、保管する。 日光から遮断すること。 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	別の容器に小分けして保管しないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	取扱いについてはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。 取扱いについては、全体換気装置を設置した場所で行う。 取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
管理濃度	未設定
許容濃度	ACGIH (2006年版) 5 mg/m ³ (TLV-TWA) (水酸化カルシウム)
保護具	
呼吸器の保護具	農業用マスク 消火の際は防毒マスクを着用することが望ましい。
手の保護具	ゴム手袋 消火の際は耐熱性手袋を着用することが望ましい。
目の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	帽子、ゴム長靴、不浸透性防除衣

9. 物理的及び化学的性質

外観	無色の結晶又は白色の粉末
臭い	データなし
pH	12.4 (25℃飽和水溶液)
融点／凝固点	580℃ (分解)
沸点、初留点と沸騰範囲	分解
引火点	不燃性
自然発火温度	607℃
燃焼又は爆発範囲	不燃性
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
見かけ比重	2.2
溶解性 (水)	微溶
オクタノール／水分配係数	データなし
分解温度	580℃

10. 安定性及び反応性

安定性	大気中で炭酸ガスを吸収し、漸次炭酸カルシウムとなる。 加熱すると分解し、炭酸カルシウムとなる。
危険有害反応可能性	酸類と反応し発熱する。 強酸化剤と反応する。 水の存在下で、多くの金属を侵す。
避けるべき条件	空気との接触。加熱。
混蝕危険物質	強酸化剤、酸類。
危険有害な分解生成物	酸化カルシウム

11. 有害性情報

急性毒性	経口 ラット LD ₅₀ 7340mg/kg ^{1),2)} 経皮 データなし 吸入 データなし
皮膚腐食性／刺激性	ヒト 中程度、重篤な刺激を示す。 ^{1),2),3),4),5),6)}
眼に対する重篤な損傷刺激性	ヒト 中程度、重篤な刺激を示す。 ^{1),2),3),4),5),6)}
呼吸器又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性	単回暴露： ヒト 呼吸器・気道を刺激し肺水腫を引き起す。 ^{1),2),4),5),6)} 反復暴露： ヒト Priority2において肺を冒すことがある。 ^{5),6)}
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性／分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし

13. 廃棄上の注意

国及び地方自治体の廃棄物処理に関する法律・条令に従う。
廃棄物を河川、下水道等に流さない。

14. 輸送上の注意

国内規制	消防法、毒劇物取締法、船舶安全法、航空法等の規定に従った容器、 包装、表示、 積載、輸送方法により輸送する。
------	--

輸送の特定の
安全対策及び条件

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。食品、飼料、肥料、種子とできるだけ混載しない。

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）、政令番号317号（水酸化カルシウム）

16. その他の情報

問い合わせ先

ホクサン株式会社 営業部業務課
北海道北広島市北の里27番地4
TEL 011-370-2333

その他引用文献

- 1) HSDB (2005)
 - 2) ACGIH (7th, 2001)
 - 3) IUCLID (2000)
 - 4) HSFS (2005)
 - 5) SITTING (4th, 2002)
 - 6) ICSC(J) (1997)
-

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものであって、特別な取扱いをする場合は用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。